

## 《 聖土曜日:お通夜 》

Black Saturday 2025  
2025.4.19 ミサ説教

日本に戻って来て、私が気づいたのは、あなた方がお通夜式を行わなくなったことです。多分、通夜式を行わない理由はパンデミックの影響があるかもしれませんが。しかし、その時代は既に終わったでしょう。今は ポストパンデミックの時代です。恐れなしであらゆるところに集まることが出来ます。

お通夜の時に、何をしていますか？言うまでもなく、私たちが夜、教会に、死者を祈り、記念するために、集まります。一言で、死者の人生を要約します。私たちにとって、それは死者の遺産です。私たちへの貢献です。このようにして、その人の人生を深く理解するようになります。実は、納骨式の時にも同じことをします。

兄弟姉妹の皆さん、イエスの復活を待ち望んでいるように、そのように聖土曜日を過ごすべきではないでしょうか？聖土曜日に、教会は静かです。教会活動はありません。私たちはイエスのお墓に立ち、イエスの力強い言葉と神秘的な行動を心に集め、そして、より深く理解するのに、イエスの記憶をすべて結びつけるよう心掛けています。

聖土曜日には、信仰はイエスが死者と共におられたことを教えてくれます。

聖土曜日の夜、復活の聖なる徹夜祭が行われます。教会堂内部は消灯します。暗闇の中でミサが始まります。きっと、これは、イエスの母であるマリアと弟子たち、特にまだ暗いうちにイエスの遺体に香料を塗るために早く墓に行った女性たちの気持ちだったのではないのでしょうか。

兄弟姉妹の皆さん、良い知らせは私たちの外であろうと内側であろうと、世界で最も暗い場所でさえ、神を見つけることができるということです。神の存在を感じなくても、神はここにいます。もしも、神を探し求めるとしたら、絶対に、今日の福音の婦人たちのように、神のきらきら光っている姿を見つけるでしょう。「輝く衣を着た二人の人は婦人たちに言いました。なぜ、生きておられる方を死者の中に探すのか。あの方は、ここにはおられない。復活なさったのだ。」この出来事のおかげで、婦人たちは変わって、急いで弟子たちに墓での見たことを述べ伝えました。

聖土曜日のはっきりしたメッセージは地球の最も暗い場所にさえ神の存在を見つけることができるということです。例とえば、戦場、悲惨なところ、寂しい家、病院などがあります。これは希望です。復活の私たちへの贈り物は希望です。神は最も弱い瞬間に私たちを決して見捨てません。復活イエスは暗闇の中から私たちを取り出してください。

最後には善が勝ちます。悪は倒れます。愛がすべてに打ち勝ちます。正しい人は永遠に生きます。偽りのない人は自由さを見つけます。信頼する者は愛されます。奉仕する者は奉仕されます。赦す人は赦されます。忠実な人は天の国に入りますという希望を復活は私たちに求めています。